

臨地実務実習 日報

学校法人 日本教育財団

東京国際工科専門職大学

企業名	株式会社DEHA SOLUTIONS			配属部署			
氏名	岩村理央	学籍番号	TK240322				
期間	2026年 1月 14日(水) ～ 2026年 2月 10日(火)						
日時	業務内容			反省点・気付いた点			
1/14 (水) 10:00 ～ 18:30	・オリエンテーション ・システム開発プロセスの理解度調査 ・理解度確認			本日はオリエンテーションということもあり、社内での過ごし方や予定の確認、システム開発プロセスについての話を聞いた。システム開発の理解に時間を多く頂いたため、ざっくりではあるがどう仕事していくのか理解できた。社内にはベトナムの方が多くいるため、積極的に質問など声をかけてコミュニケーションをとれるよう努力しようと思った。			
1/15 (木) 10:00 ～ 18:30	・ヒアリングについて ・ヒアリング演習			本日は開発プロセスにおける要件定義に必要なヒアリングを教わった。ヒアリングはユーザーの要件に合うよう聞いていくのだが、具体的な答えがない上に、会話から想定しなくてはならないので、うまく汲み取り分類することが頂いたアドバイスで大事だと感じた。			
1/16 (金) 10:00 ～ 18:30	・要件整理体験			本日は架空の会社から頂いた要件を整理する体験をした。私は顧客の回答内容から要件や課題を見つけ、次に確認すべき不明な点を探すことを行った。行き詰まることも多く、AIに想定してもらい、その後添削して頂いた。いい反応を頂き、修正する箇所はあったが理解できていると感じて良かった。			
1/19 (月) 10:00 ～ 18:30	・要件定義書作成体験			本日は要件定義書の作成を一部行った。以前自分が書いた要件をどう分類し、定義書に落とし込むか苦労した。ただそのまま書き込むのではなく、重なっている要件はまとめたりするので、経験として考え身につけていきたい。			
1/20 (火) 10:00 ～ 18:30	・要件定義書作成 ・提案書へ移る作業方針の決定 * 先生巡回訪問			本日は要件定義書の作成を終えた。細かい添削はあったものの、内容に関しては問題なさそうで安心した。しかし相手は人であるため、伝えやすい定義書を意識して作成していくことが大事と思った。次回は提案書だが、顧客に向けた「分かりやすい」を意識して作成していければと思った。			
<p>感想(1週間を振り返って)</p> <p>1週間を経てまず安心していきます。まだ実習期間の初週ですので、教わることやセッティングが多く、本格的な実習は2週目以降かなと身構えています。ただ今のところはストレスなく実習に取り組めているのでよかったです。要件定義などの開発プロセスは大学では習わないと思うので、新鮮な気持ちで取り組んでいます。ベトナムの皆さんとコミュニケーションをとりながら開発することもここならではの強みと考えているので、ぜひ吸収して活かしたいと思います。</p> <p>担当者様コメント</p> <p>こちらが伝えていることについて、「目的は何だろう?」と考える姿勢を感じます。非常によいと思います。次からは提案書です。思い切った発想を期待します。(松崎)</p>							

【貴社ご担当者確認欄:電子記入可】 →→→ 【指導担当教員】

(氏名) 松崎紀之

(氏名)